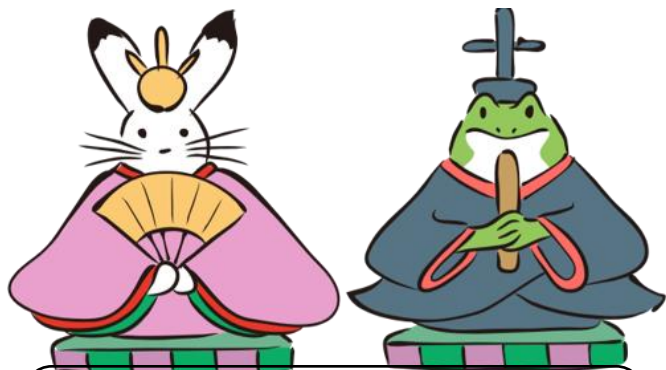


図書館ニュース 2026年3月号



3月のおしらせ

埼玉県の司書が選んだ イチオシ本2025展示中

県内の高校図書館司書が ガチで選んだ、2025年の推し本!!

今年も来ました！ イチオシ本です!!

本企画は、埼玉県の高校図書館司書が、その年に発売された本の中で、特に高校生にオススメする本を投票で選ぶ、というもの。



今年の1位は、鈴木俊貴『**僕には鳥の言葉がわかる**』(小学館)[23票]でした！ テレビでも取り上げられ、大変話題になった1冊です。

今年はマンガもランクイン！ ぜひ図書館で手に取ってみてくださいね。

3月のテーマ展示

埼玉県の高校図書館司書が選んだ イチオシ本2025

県内高校図書館司書が、2025年に発売された本の中で、特に高校生にオススメの本を投票で決めました！

今回は展示に合わせ、オリジナルパンフレットも配布します！
絶対ゲットだぜ!!

おしらせ

①2026年度より図書館内1階中央のテーマ展示を中止します。

→今後は、ボードゲームコーナーを通年設置する予定です。

→図書の企画展示は、カウンター横のみとなります。

長きにわたるご利用、誠にありがとうございました。

②『図書館ニュース』の誌面をリニューアルします。お楽しみに。

→2026年4月号より。

→教室掲示版、三折り版、配信版の整合性をとり、よりわかりやすく、見て・読んで楽しいものにしていく予定です。

これからも、進修館高等学校図書館をよろしく願いいたします。

休館日

2026年		3月				
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ 休館日 ▲ 放課後休館

★ リサイクル図書
更新予定日

※状況により、変更になる場合があります。
入口のスケジュールを確認してください。

開館時間

始業時 ~ 16:30

※状況により、変更になる場合があります。



進修館高等学校図書館

新着図書のおしらせ

有山リョウ

ロメリア戦記
全6巻

小学館

2026年アニメ化決定のライトノベル。魔王討伐直後、王子に婚約破棄されてしまった令嬢・ロメリア。彼女が見据えていたのは、絶望でもなく、希望でもなく、戦争で荒廃した国の再建だった！

畠山丑雄

改元

石原書房

第174回芥川賞受賞作家による作品。改元の年、ある山奥の市の市民課へ異動させられた、公務員の「私」。その土地には、惟喬親王が龍の夢を見たという伝説があり――。

奥野克己監修

世界ぐるぐる
怪異紀行

河出書房新社

本書では、9名の文化人類学者が、自身が体験した奇妙な出来事や、調査地において見聞きした怪異を紹介する。「怪異なんて、非科学的だよ」と言うそのアナタ…、ぜひ一読あれ。

3月のテーマ展示

『埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2025』

3月のテーマ展示では、『埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2025』を一挙ご紹介！本企画は、毎年2～3月ごろに、埼玉県の高校図書館が中心となって行っているもの。新聞で取り上げられるような、一大ビッグイベントです！県内高校図書館司書が、2025年に発売された本の中で、特に高校生にオススメの本を投票で決めました。

今年はマンガもランクイン！読書好きの人もそうじゃない人も、ぜひ見に来てくださいね。なお今回は展示に合わせ、オリジナルパンフレットも配布します！絶対ゲットだぜ！！

ランキング一覧

	著者名『本のタイトル』（出版社）		
1	鈴木俊貴『僕には鳥の言葉がわかる』（小学館）	鈴木俊貴 僕には鳥の 言葉がわかる 小学館	1
2	かまど、みくのしん『本が読めない33歳が国語の教科書を読む』（大和書房）		
3	雨井湖音『僕たちの青春はちょっとだけ特別』（東京創元社）	雨井湖音 僕たちの 青春は ちょっとだけ 特別 東京創元社	3
4	宮島未奈『それいけ！平安部』（小学館）	宮島未奈 それいけ！ 平安部 小学館	4
5	ヨシタケシンスケ『お悩み相談そんなこともアラナ』（白泉社）		
6	びーやま『17歳のときに知りたかった受験のこと、人生のこと。』（ダイヤモンド社）	ハン・ガン、 きむふな訳 涙の箱 評論社	8
7	藤見よいこ『半分姉弟: 1』（リイド社）		
8	ハン・ガン、きむふな訳『涙の箱』（評論社）	ハン・ガン、 きむふな訳 涙の箱 評論社	

※今年度は10位の本が4冊あったため、イチオシ本は8位までの9冊となります。

3月の新着図書(一部)

著者名『本のタイトル』(出版社)
木村由莉『恐竜がもっと好きになる化石の話』(岩波書店)
長濱和代『木が泣いている』(岩波書店)
さとうみき『認知症のわたしから、10代のあなたへ』(岩波書店)
川口かおる『中学生からの絵本のトリセツ』(岩波書店)
河出書房新社編『生き抜くためのごはんの作り方』(河出書房新社)
大空幸星『「死んでもいいけど、死んじゃだめ」と僕が言い続ける理由』(河出書房新社)
吉田尚記『オタクを武器に生きていく』(河出書房新社)
服部文祥『お金に頼らず生きたい君へ』(河出書房新社)
雨宮処凛『学校では教えてくれない生活保護』(河出書房新社)
河出書房新社編『from under 30世界を平和にする一歩』(河出書房新社)
梶本淑子『14歳のヒロシマ』(河出書房新社)
小野田博一『論理の鬼』(河出書房新社)
松尾太郎『宇宙から考えてみる「生命とは何か？」入門』(河出書房新社)
田村文『いつかあなたに会ってほしい本』(河出書房新社)
奥野克己監修『世界ぐるぐる怪異紀行』(河出書房新社)
雨宮処凛『難民・移民のわたしたち』(河出書房新社)
中村眞大編著『わたしたちの、世界を変える方法』(河出書房新社)
ジャン＝マルク・ジャンコヴィシ, クリストフ・ブラン, 芹沢恵, 高里ひろ訳『だれも教えてくれなかったエネルギー問題と気候変動の本当の話』(河出書房新社)

著者名『本のタイトル』(出版社)
三津田信三『刀城言耶シリーズ』全11巻(講談社)
若松英輔『詩を書くってどんなこと?』(平凡社)
宇都宮健児『天皇制ってなんだろう?』(平凡社)
渡辺大輔『性の多様性ってなんだろう?』(平凡社)
島藺進『宗教ってなんだろう?』(平凡社)
梁澄子『「慰安婦」問題ってなんだろう?』(平凡社)
齋藤純一『平等ってなんだろう?』(平凡社)
下地ローレンス吉孝『「ハーフ」ってなんだろう?』(平凡社)
石井清純『禅ってなんだろう?』(平凡社)
池辺晋一郎『音楽ってなんだろう?』(平凡社)
松本卓也『心の病気ってなんだろう?』(平凡社)
有山リョウ『ロメリア戦記: 魔王を倒した後も人類やばそうだから軍隊組織した』全6巻(小学館)
畠山丑雄『改元』(石原書房)
畠山丑雄『地の底の記憶』(河出書房新社)
渡邊寧久『落語家になるには』(ペリかん社)
『目指せ! 科学者』5巻(北野書店)
三井綾子『知りたい! 専門学校: 工業・農業分野』(ペリかん社)
原泰久『キングダム』78巻(集英社)
池井戸潤『俺たちの箱根駅伝』上下(文藝春秋)
朝日新聞出版編『朝日キーワード2027』(朝日新聞出版)
「人と思想シリーズ」新装版全198巻(清水書院)
旺文社編『蛍雪時代特別編集: 2026年[令和8年]入試対策用全国短大進学ガイド』(旺文社)

新着ボードゲーム

麻雀、るるぶ日本&世界一周ゲーム